

ICTを活用した安全技術「ICT安全」の事例

1枚に1技術を目安に記載願います

発行No
A-29

■ 技術名称	
入退場管理システム (ICタグ)	
■ 基本情報	
発注者	
会社名	
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他 ()
工種 (小項目)	掘削工
仕様	発注者指定 / 受注者独自
採用事由	①ICT対象工事 ②技術提案 ③自主導入 ④創意工夫 ⑤その他 ()
採用目的	災害防止 / 危険有害要因の低減 / メンタルヘルス・作業環境の改善 / その他 ()
■ 実施内容詳細 (危険事例や想定だけの場合は本欄の記入は不用。)	
対象数量	
活用ICT	無人化・省人化 / 人・行動センシング / 機械センシング / その他能力支援 ()
システム業者	西松建設株式会社
導入効果・検証 (1)	ICタグ(RFID)をヘルメット内に装着することにより、多くの作業員がフリーハンドでの入退場が可能となった。
導入効果・検証 (2)	新規入場者のICタグ発行を、事前に作業員のデータがなくても、入場者教育時に行い、入場当日から運用可能とするとともに、労務管理の効率化が図れた。
導入効果・検証 (3)	「熱中症予知」、「精神疲労検知」、「行動指標による危険予知」の何れかの項目で、「危険な状態」と判断された場合は、管理者コンソールにアラートが表示されると共に、本人が携帯する端末に対しても直接アラートが送信される。これにより、作業員が健康を損なってしまうのを、事前に防止することができる。

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■ 参考図・写真	
■ 欲しい安全機能、改善したい機能	
<ul style="list-style-type: none"> ICタグの検知用アンテナを上部に設けた門型の通過ゲートを適用しているが、コンパクトで設置が容易なゲートへの改良 	
■ 課題・要望事項	
<ul style="list-style-type: none"> 金属製のヘルメットの場合は、ICタグ(RFID)検知不可 	